

新たに加わった9名の仲間

まだまだコロナ禍が収まらない状況の中、令和3年の新年度が始まりました。団員確保が厳しい中ではありますが、おかげさまで二宮町消防団に、2名の再入団者を含む、8名の強力なメンバーが新たに加わりました。ここでは、1月から活動を開始しているメンバーを加えた合計9名の団員紹介をいたします。



山口一男
第3分団副団長
(元町北)

今年4月から10年ぶりに分団へ復帰することになりました。また、活動して間もないですが、後輩の訓練姿勢に圧倒されながら、体力の衰えを感じています。3分団のモットーである『やる時はやる、楽しむ時は楽しむ』を大切に、分団活動を通じて新しい価値観を見つけていきたいと思っています。最後に、少しでも地域の安全・安心にご尽力を頂ける方、遠慮なく第3分団団所に足を運んでください。よろしくお願ひ申し上げます。



三枝公一
第1分団班長
(梅沢)

3年前に退団しましたが、あらためて町民のみなさまの生命や財産を守る消防団に再入団することになりました。全国的にも地震や台風による被害が大きくなっていることもあり、これからの消防団には、火災防衛だけでなく、地域防災活動にもより期待されるようになってきていると思います。分団長や副分団長、団員、そして他分団のみなさまとともに一致団結して日々の消防活動に取り組んでまいります。よろしくお願ひします。



高橋 威史
第3分団団員
(富士見が丘1)
※令和3年1月入団

私は二宮町に生まれ育ちました。本職では総合物流会社に勤務しており海外勤務や町外で長く生活していましたが、再び幼少期に過ごした自然豊かな二宮町に住むことができ、町内活動を通じて故郷に恩返ししたければと思います。今後は訓練を重ね、先輩方の知識や技能を受け継ぎ、皆様の安全と安心を守るべく一層の努力をすする所存です。今後ともご指導の程、宜しくお願ひ申し上げます。



二見直樹
第1分団団員
(川勾)

普段は仕事柄、地域の皆様に支えられながらお仕事をさせて頂いておりましたが、何か自分も地域のお役に立てる事を所望しなければならぬと思い、自分も継続して活動する覚悟を決め、自分でお役に立てるのであればと入団をさせて頂きました。先輩方の素晴らしいチームワークと熱い想いに感動を覚え、日々の活動に際しても丁寧にご指導を頂いており、一日も早く活動のお役に立てるよう、ご縁を戴いて全体的に感謝の心を持って日々精進してまいります。



大島良太
第1分団団員
(越地)

地域へなにか貢献できればと思っております。消防団へのお誘いを機会に入団を決めました。先輩方の親切丁寧な指導のおかげで、今不安もなく、次は自分がきちんと指導できるように頑張ろうと思っております。また、先輩方の訓練に対し真剣に取り組む姿勢、訓練後にも訓練内容に対し振り返りを促すなど活動に対する意識の高さを実感しています。消防団員として技術だけでなく活動に取り組む姿勢も含め、貢献できるように頑張りたいと思います。



稲葉 健
第3分団団員
(富士見が丘2)

私は家庭を持つようになってから二宮町に越してきました。地域との関わりはあまりなかったのですが、数少ない知り合いから「地域の安全は自分たちで守る」と声を掛けて頂き、その声に共感し消防団に入団することになりました。小さい子供たちを育てながらの活動のため、不安な部分はたくさんありましたが、第3分団の先輩方は優しく、そしてとても頼りになる方々で、自身もはやく一人前にならなくてはという気持ちでいっぱいです。先輩方に追いつけるよう日々の訓練に励みます。



及川智哉
第3分団団員
(松根)

二宮町に引越して来てもうすぐ2年になります。子供と地域のイベントに参加させて頂き、消防団や町内会の方達に大変お世話になりました。子供もイベントを楽しんでおり感謝の気持ちがあるなか、何もしていない自分が申し訳なく思っております。私も町や子供の為に何か役に立てないかと考えていたところ、消防団のお誘いを受け入団を決意しました。これから役立てるよう努めて参ります。



新井 剛
第4分団団員
(中里)

小さい頃から二宮町に住んでいました。一度は東京へ出て、仕事していましたが二宮町の素晴らしい景色を再認識して、地元で働きたいと決意しました。町のためになれるようなことがないか探してました。また、昔からの友人に誘われて消防団員になりましたが、やりがいがあります。こういった時代ですがこれからも地域のために活動したいと思っています。



本間 涼
第5分団団員
(百合が丘3)

私は生まれてからずっと二宮町に住んでいました。消防団について詳しくは知りませんが、興味を持って消防訓練や実際の活動に参加したいと思っています。今度、消防団の活動や役割を聞き、自分も入団したいです。先輩方の指導やサポートを頂きたいです。よろしくお願いします。

女性消防団員募集

町内在住・在勤で18歳以上の方なら、どなたでも応募できます。

募集人員：1名（面談の上、決定いたします）

活動内容：二宮町消防団における女性消防団員活動のあり方の調査・検討
二宮町消防団員としての各種訓練、災害発生時の出勤等

※団本部の所属となります。将来、女性部（仮称）のリーダーとなることを想定しています。



公務災害補償制度
被服の貸与
退職報償金
表彰制度



【お問合せ】
消防本部 消防課
庶務班
☎72-0015

あなたの想いが、この町を守るエネルギーになります

令和3年二宮町消防団入退団式

令和3年3月28日(日)
於：ラディアン大ホール

日本消防協会 / 神奈川県消防協会表彰・退団者表彰



井上 充
第5分団
副分団長
(一色)



倉嶋 仁
第4分団
分団長
(中里)

(神奈川県消防協会表彰規定)
10年勤続した者で、職務に精励し消防の使命達成に努力した者に対して授与

神奈川県消防協会 精勤章 (勤続10年)



渡邊 恒文
消防団長
(緑が丘)

(日本消防協会表彰規定)
功績章は、次の各号の一に該当すると認められる協会の正会員に授与する。
・その地方の消防の画期的な刷新を行い、当該地方において名望を有し社会的信用がある者
・永年にわたって消防の職務に精励し熟達した技能を習得し、かつ、平素より率先垂範して消防の使命を達成することに努め、その功績が顕著である者

日本消防協会 功績章



菅原 将紀
第5分団団員
(百合が丘2)



安藤 正和
第4分団班長
(中里)



杉崎 総理
第3分団班長
(富士見が丘2)



小日山 輝泉
第3分団班長
(松根)



河村 悟
第2分団班長
(下町)



國分 康太
第1分団班長
(茶屋)



杉崎 一彦
第1分団班長
(梅沢)

(神奈川県消防協会表彰規定)
5年勤続した者で、職務に精励し消防の使命達成に努力した者に対して授与

神奈川県消防協会 精勤章 (勤続5年)



新型コロナウイルス感染症防止のため「令和3年二宮町消防団入退団式」は規模を縮小しての開催となりました。



西山 悟史
第1分団班長
(茶屋)

団員拜命以来、一貫して郷土愛に燃え、消防の使命達成のため日々尽力し、技術の向上に努めている。
また、正副分団長を補佐し、団員と積極的にコミュニケーションを図ることで、活動しやすい環境づくりも意識しながら団務に精励している。
さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった第52回神奈川県消防操法大会に選手(3番員)として出場予定だった。その訓練に取り組む姿勢は、他の団員の模範であり、団員からの信頼は非常に厚い。

団長特別表彰



(二宮町消防団表彰規程)
第5条 団長特別表彰は、次の各号のいずれかに該当するときに表彰するものとする。
(1) 団務に精励し、消防行政においてその成績が特に優秀であつて、他の模範であるもの。
(2) 前号に掲げるもののほか、団長が特別に認めるもの。
2 前項の表彰は、団長が、表彰状及び記章を授与するものとする。ただし、特段の事由があるときは、この限りではない。

(勤続5年未満)
鈴木 伸一郎 第1分団団員 (梅沢)
羽根 輝哉 第3分団団員 (元町南)



井上 大介
第5分団班長
(一色)



杉崎 総理
第3分団班長
(富士見が丘2)



池田 真一
第3分団班長
(元町北)



前川 健雄
第1分団班長
(越地)



西山 悟史
第1分団班長
(茶屋)

(二宮町消防団表彰規程)
第7条 退団者等に対する感謝状は、次の各号のいずれかに該当するときに贈呈するものとする。
(1) 勤続2年以上の消防団員
(2) その他、団長が特別に認める団員又はその家族
2 前項の感謝状は、前項第1号は町長が、同項第2号は団長が、贈呈するものとする。ただし、特段の事由があるときは、この限りではない。
(勤続5年以上)

退職者等に対する感謝状